

わが村は美しく

むかわ町編

第十二回 優秀賞 ニサナイ大地の会



活動拠点となるニサナイ会館前の花壇づくりは会の女性たちが担当した。



「直売所はしご旅」を提案しているマップ。手作り感があり親しみが持てる。

お話をしてくれた人



ニサナイ大地の会 会長
中澤 浩 さん

～できることから始めるを活動のコンセプトに。



地域を担う次世代へ
バトンをつないでいくために。
中長期的な視野で地道に活動。

「二〇一六年に、むかわ町が行った地域づくりモデル事業をきっかけに、ニサナイ地区の七戸の農業者が集まり結成したのがニサナイ大地の会です。この地域がいつまでもきれいな環境であってほしい。農業を核として産業や文化を次の世代につなげていきたい共通の想いで活動を始めました」。

南に太平洋、北に日高山脈を擁するむかわ町。二〇〇六年に、穂別町・鶴川町が合併し、新生「むかわ町」が誕生した。この旧穂別町のニサナイ地区で、地域を若い世代に継承しようとして活動しているのが「ニサナイ大地の会」だ。

会長の中澤浩さんはこう話します。

「二〇一六年に、むかわ町が行った地域づくりモデル事業をきっかけに、ニサナイ地区の七戸の農業者が集まり結成したのがニサナイ大地の会です。この地域がいつまでもきれいな環境であってほしい。農業を核として産業や文化を次の世代につなげていきたい共通の想いで活動を始めました」。

まず、五年後も十年後も支え合える地域づくりをめざして、未来予想図のニサナイビジョンを作成した。今すぐできることを前期、五年以内を中期、将来的な理想像を後期として、段階的に進めることになったのだ。

活動に至る背景を探ってみると二〇〇六年の町の合併に先駆け、二〇〇一年には、近隣の六農協が合併し、とまこまい広域農業協同組合が設立されている。

中山間地にある穂別地区は、「穂別メロン」のブランドで知られるほか、北海道の天然記念物に指定された首長竜「ホベツアラキリユウ」などの化石などが多数発見され、化石の町としても有名である。農業資源はもちろん観光資源にも恵まれたこの地区を後世に受け継いでいきたいという強い思いがあったのだ。

第11回コンクール



参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう
「わが村は美しく－北海道」運動

むかわ町へは、JR室蘭線苫小牧駅から日高本線に乗り、鶴川駅で下車。穂別地区へ行く場合、鶴川駅から町営バスが運行するほか新千歳空港からの直行便バス(道南バス)が運行している。周辺を散策するなら札幌駅、新千歳空港駅から駅レンタカーを利用すると便利。詳しいアクセス、観光情報は、むかわ町のHPを参考にしてください。

お問い合わせ／ニサナイ大地の会 ☎0145・45・3306



4 中澤さんらが製作したフクロウの木工作品。天然木の味わいを生かした素朴さが特徴。



3 近隣の森に生息している森の守り神・エゾフクロウ。



8 化石をアピールするモニュメントなどが町のいたるところにあり、観光も楽しめる。



7 会員が手作りしたエゾフクロウの巣箱。営巣する日を心待ちにしている。



6 地元でとれるメロンや野菜など農産物が豊富。特にメロンの品種が多彩にそろえられているのが魅力。



5 活動拠点となっているニサナイ会館で行われている会議の様子。

直売所マップで観光と連携 小さなことからコツコツと

最初に手掛けたのは地区内の環境美化。活動拠点であるニサナイ会館の花壇づくりや隣接する道道や農地周辺の草刈りや清掃を行った。

また、豊かな自然環境を守るため、地域に生息する森の守り神のエゾフクロウの巣箱を設置する取り組みも実施した。「この地域は林業も盛んです。エゾフクロウの巣箱を自作して三カ所に設置しましたが、なかなかフクロウが入ってくれませんでした」と残念そうな中澤さん。

地元の木を使ったフクロウの木工作品の販売を始め、これが会の活動資金になっている。中澤さんの直売所で販売しているエゾフクロウの木工作品は、木の形を生かしながら作られ、素朴でダイナミックなものだった。

中長期的視点で、地域でとれる農産物を使った加工品開発や、講師を招いての勉強会も開催。「農業の六次化も視野に入

れていますが、実現するのは難しいですね」と中澤さん。会の設立後に起きた北海道胆振東部地震や新型コロナウイルス感染症の拡大などで、活動は思うように進まなかった。

地元農家が営んでいる農産物直売所のマップを作成。ニサナイ地区にある、石崎農園、おがしら農園、もぎたてHOUSE中澤農園、三軒の直売所の魅力を伝えながら、観光ポイントも紹介した手作りマップだ。「直売所のはしご旅」を呼びかけるチラシが面白い。

土地の神様をまつる行事として百年続いている社日祭も会が中心となって行っている。豊作を祈願する春の社日、収穫に感謝する秋の社日には、祈禱後に直会で親睦を深めている。「コロナ禍で中止した親睦会も復活。今後もずっと続けていきたい」と話す中澤さん。

活動は決して派手ではないが、小さな積み重ねにより、地域の人々の心も豊かにする。わが村を美しくする原点のよう



「わが村は美しく北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために、2001年にスタートしました。2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。コンクールは1年目に優秀賞、奨励賞を表彰し、2年目に優秀賞から大賞を決定。地域の資源を掘り起こし、地域の活力とすると同時に活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

お問い合わせ／国土交通省 北海道開発局 農業水産部農業振興課 ☎ 011・709・2311 (内線5685)

